

## 指定管理評価表(武庫東生涯学習プラザ)

令和2年3月31日現在

<b>施設概要</b>	武庫東生涯学習プラザ(尼崎市武庫東之荘8丁目1番1号) 開館時間:平日9:00~21:00 日曜日:9:00~17:00 (休館日:祝日、年末年始) 施設設置目的:教育基本法(平成18年法律第120号)第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供 事業内容:武庫東生涯学習プラザの使用に関すること及び施設の維持管理			
<b>指定管理者の名称</b>	三菱電機ライフサービス株式会社伊丹支店			
<b>指定期間</b>	平成31年4月1日~令和6年3月31日			
<b>業務概要</b>	武庫東生涯学習プラザの管理業務(①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること、②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品にかかる1件50万円未満の補修工事及び修繕、⑤利用状況等統計、その他)			
<b>利用状況等</b>	項目名	令和元年度	平成30年度	平成29年度
	貸室利用者数	36,984 人	37,458 人	37,184 人
	貸室稼働率	32.69 %	35.55 %	35.59 %
	自主事業開催数	0 回	- 回	- 回
	自主事業参加者数	0 人	- 人	- 人
<b>所管課・所管課長名</b>	総合政策局武庫地域振興センター武庫地域課・門田 真由美			
<b>評価対象期間</b>	平成31年4月1日~令和2年3月31日			

評価項目	説明	評価	評価コメント
<b>1 サービスの質の維持・向上</b>		<b>B</b>	今年度から新しく管理を行うこととなり、新しいスタッフが多く、不慣れな点もあるが、利用者の要望に応えるべく、丁寧な対応を行っている。また、よりよい接遇を行うため職員研修を行うほか、①従事するスタッフが全員参加する会議を積極的に実施②日報の活用、によって情報共有の徹底を図っている。
自主事業・指定事業	計画に沿って、積極的に自主事業・指定事業に取り組んでいるか		
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか		
施設利用者数	施設利用者の掘り起こしがされているか		
利用者要望の把握	利用者要望の把握がされているか		
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか		
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか		
<b>2 適正な施設の管理</b>		<b>A</b>	消防訓練については、利用者にも参加を呼びかけるなど、緊急時においても適切な対応がとれるよう心掛けている。また、施設の維持管理において、施設が老朽化していることから、修繕必要箇所も多いが、スタッフで行えるところは対応し、経費を抑えるよう努めている。
施設保守・管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか		
職員体制	合理的な配置か、責任体制が整った配置か		
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか		
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか		
職員研修	職員研修が十分に実施されているか		
<b>3 収支・経費節減</b>		<b>A</b>	建築後、年数が経過していることで、施設内に不具合が多く生じているが、できる限り社内対応を心掛け、経費削減を行っている。
収支状況	収支の状況が適正かつ良好であるか		
経費節減の取組	経費節減の取組みがされているか、		
<b>4 指定管理者の経営状況等</b>		<b>A</b>	適正な会計手続きがなされており、経営状況についても問題はない。
会計状況	適正な会計手続きがなされているか(監査報告書等による)		
経営状況	経営状況は良好か(貸借対照表、損益計算書等による)		
<b>5 その他</b>		<b>B</b>	文書等は適切に管理されており、毎月、三菱電機ライフサービスの職員が訪れ、内部評価を行っている。
文書等の管理	文書類、帳簿、備品、資料等が適切に管理されているか		
評価の実施	内部評価を実施しているか		

指定管理者選定に係る事業計画書の主な取組内容	左記に関する取組状況とその取組に対する評価
管理運営費の削減 学習スペースの提供	図書コーナー、学習スペースを利用する、市民・小中高生も多く、連日にぎわっている。東西プラザまつりの開催時には、お互いの登録グループに参加を促すことで交流促進を図っている。維持管理においては、築年数が経過しており、経年劣化している箇所が多いなか、修繕費を抑制するために、業者に依頼するのではなくスタッフが可能な限り対応するように努めている。

総合評価	総合評価の理由、今後の課題等
<b>A</b>	今年度から指定管理を行うにあたり、これまでの利用者からの問い合わせにも丁寧に応じている。また、独自のHP・リーフレット等による広報活動のほか、SNSを活用すべくタブレット端末の導入を検討しており、情報をリアルタイムで発信することにより、これまでとは異なる層に向けてのアプローチを行うこととしている。施設の維持管理においては、男子トイレや空調機など、突発的な施設老朽化による不具合も多く、予算不足から修繕対応が行えない箇所も多くある中、利用者からのクレームに対しても、きちんと対応している。また、新型コロナウイルス感染症対策として、早期の段階より消毒用アルコールの設置や館内の消毒作業に取り組んでいる。

※ 評価は、A~Eの5段階評価とする。

※ 確認調査の結果をチェックリスト等に記入する。更に1~5の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

※ A:非常に良好である又は非常に成果があった。 B:やや良好である又はやや成果があった。 C:取組状況の水準が普通である。

D:やや改善の余地があった。 E:多くの改善すべき点が見受けられる。